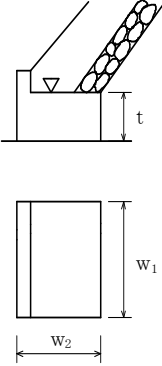
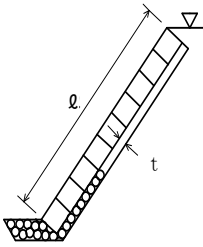


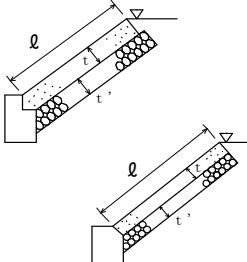
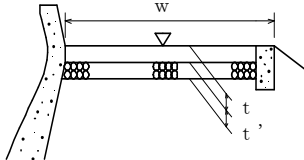
出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	5 護岸 基礎工	6		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	ブロック個数40個につき1ヶ所の割で 測定。基準高、延長は施工延長40m (測点間隔25mの場合は50m)につき 1ヶ所、延長40m(又は50m)以下の ものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-5-6	
						ブロック厚 t	-20				
						ブロック縦幅 $w_1$	-20				
						ブロック横幅 $w_2$	-20				
						延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	4		海岸コンクリートブ ロック工	基 準 高 $\nabla$	$\pm 50$	施工延長40m(測点間隔25mの場合は 50m)につき1ヶ所、延長40m(又は 50m)以下のものは1施工箇所につき 2ヶ所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理 要領(護岸工編)(案)」の規定による 測点の管理方法を用いることができ る。		7-1-6-4	
						法長 $l$	$l < 5m$				-100
							$l \geq 5m$				$l \times (-2\%)$
						厚 さ t	-50				
						延 長 L	-200				

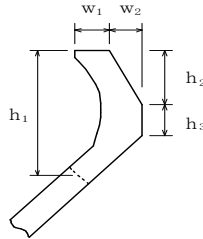
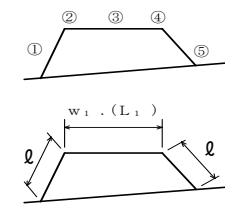
### 出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	6 護岸 工	5		コンクリート被覆工	基 準 高 $\nabla$	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「TS等光波方式を用いた出来形管理要領（護岸工編）（案）」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		7-1-6-5	
						法長 $l$	$l < 3\text{m}$				-50
							$l \geq 3\text{m}$				-100
						厚さ $t$	$t < 100$				-20
							$t \geq 100$				-30
						裏込材厚 $t'$	-50				
						延 長 $L$	-200				
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	8 天端被 覆工	2		コンクリート被覆工	基 準 高 $\nabla$	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-8-2	
						幅 $w$	-50				
						厚  さ $t$	-10				
						基 礎 厚 $t'$	-45				
						延 長 $L$	-200				

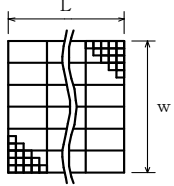
出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	1 堤防・ 護岸	9 波返工	3		波返工	基準高▽	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-1-9-3	
						幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-30				
						高さ h < 3m h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub> , h <sub>3</sub>	-50				
						高さ h ≥ 3m h <sub>1</sub> , h <sub>2</sub> , h <sub>3</sub>	-100				
						延長 L	-200				
7 河川 海岸 編	2 突堤・ 人工岬	4 突堤基礎工	4		捨石工	本均し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。		7-2-4-4	
						表面均し	±100				
						荒均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ				±500
							異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ				±300
						被覆均し	異形ブロック据付面(乱積)の高さ				±500
							異形ブロック据付面(乱積)以外の高さ				±300
						法長 l	-100				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所、延長はセンターライン及び表裏法肩。
						天端幅 w <sub>1</sub>	-100				
						天端延長 L <sub>1</sub>	-200				

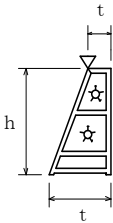
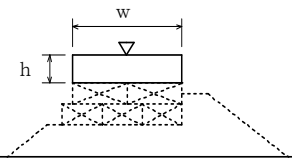
出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	4 突堤基礎工	5		吸出し防止工	幅 w	-300	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-4-5
						延長 L	-500			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	2		捨石工	基準 高 ▽	異形ブロック据付面（乱積）の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5点以上測定。	7-2-5-2
							異形ブロック据付面（乱積）以外の高さ	±300		
						法 長 $\ell$		-100		
						天 端 幅 $w_1$		-100		
						天 端 延 長 $L_1$		-200		
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	5		海岸コンクリートブロック工	基準 高 ▽	(層積) ブロック規格26t未満	±300	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。延長は、センターラインで行う。	7-2-5-5
							(層積) ブロック規格26t以上	±500		
							(乱 積)	±ブロックの高さの1/2		
						天 端 幅 w		ーブロックの高さの1/2		
						天 端 延 長 L		ーブロックの高さの1/2		

### 出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	5 突堤本 体工	9		石砕工	基 準 高 $\nabla$	±50	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-5-9	
						厚 　　さ t	-50				
						高 　　さ h	h < 3m				-50
							h ≥ 3m				-100
						延 　　長 L	-200				1 施工箇所毎
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	5 突堤本 体工	10		場所打コンクリート工	基 準 高 $\nabla$	±30	施工延長40m（測点間隔25mの場合は50m）につき1ヶ所、延長40m（又は50m）以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		7-2-5-10	
						幅 　　w	-30				
						高 　　さ h	-30				
						延 　　長 L	-200				

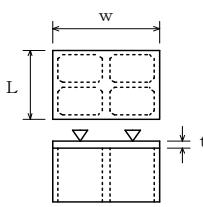
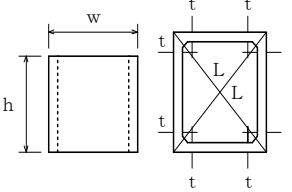
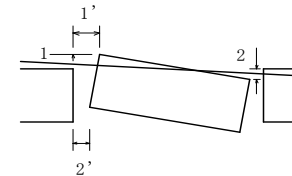
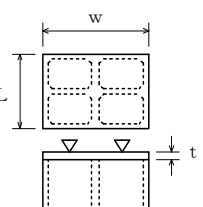
出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	5 突堤本 体工	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	バ ラ ス ト の 基 準 高 ▽	砕石、砂	±100	各室中央部1ヶ所		7-2-5-11
							コンクリート	±50			
						壁 厚 $t_1$	±10	底版完成時、各壁1ヶ所			
						幅 $w$	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端			
						高 さ $h_1$	+30, -10	完成時、四隅			
						長 さ $L$	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端			
						底版厚さ $t_2$	+30, -10	底版完成時、各室中央部1ヶ所			
						フーチング高さ $h_2$	+30, -10	底版完成時、四隅			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	5 突堤本 体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量2000 t未満 ±100	据付完了後、両端2ヶ所		7-2-5-11	
							ケーソン重量2000 t以上 ±150				
						据付目地間隔 1'、2'	ケーソン重量2000 t未満 100以下	据付完了後、天端2ヶ所			
							ケーソン重量2000 t以上 200以下				

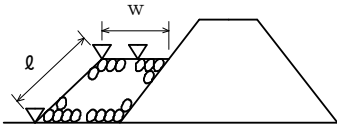
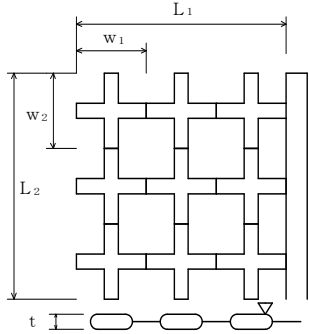
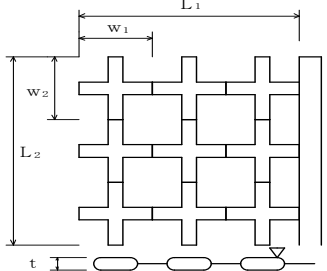
出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	11	3	ケーソン工  (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基 準 高▽	陸 上	±30	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-11
							水 中	±50			
						厚 さ t		±30			
						幅 w		±30			
						長 さ L		±30			
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	1	セルラー工  (セルラー工製作)	壁 厚 t	±10	型枠取外し後全数		7-2-5-12	
						幅 w	+20, -10				
						高 さ h	+20, -10				
						長 さ L	+20, -10				
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	2	セルラー工  (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2	±50	据付後ブロック1個に2ヶ所(各段 毎)		7-2-5-12	
						隣接ブロックと の間隔1'、2'	50以下				
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工岬	5 突堤本 体工	12	3	セルラー工  (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基 準 高▽	陸 上	±30	1室につき1ヶ所(中心)		7-2-5-12
							水 中	±50			
						厚 さ t		±30			
						幅 w		±30			
						長 さ L		±30			

出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	6 根固め工	2		捨石工	基準 高▽	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		7-2-6-2	
							異形ブロック据付面 (乱積)以外の高 さ	±300				
							法 長 ℓ	-100				幅は施工延長40m (測点間隔25mの場 合は50m) につき1ヶ所、延長40m (又は50m) 以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所、延長はセンターライン 及び表裏法肩。
							天 端 幅 w	-100				
							天 端 延 長 L	-200				
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	6 根固め工	3		根固めブロック工	基準 高▽	層 積	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合 は50m) につき1ヶ所、延長40m (又 は50m) 以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所。		7-2-6-3	
							乱 積	± t / 2				
							厚 さ t	-20				幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。
						幅 w <sub>1</sub> w <sub>2</sub>	層 積	-20				
								乱 積				- t / 2
						延長 L <sub>1</sub> L <sub>2</sub>	層 積	-200				
								乱 積				- t / 2
7 河川 海岸 編	2 突堤・人工 岬	7 消波工	3		消波ブロック工	基準 高▽	層 積	±300	施工延長40m (測点間隔25mの場合 は50m) につき1ヶ所。延長40m (又 は50m) 以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所。		7-2-7-3	
							乱 積	± t / 2				
							厚 さ t	-20				幅、厚さは40個につき1ヶ所測定。
							幅 w <sub>1</sub> , w <sub>2</sub>	-20				
							延長 L <sub>1</sub> , L <sub>2</sub>	-200				



出来形管理基準及び規格値(案)

単位：mm

編	章	節	条	枝番	工 種	測 定 項 目		規 格 値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要	
7 河川 海岸 編	3 海域 堤防（ 人工 リーフ、 離岸 堤、 潜堤 ）	3 海域 堤基礎 工	3		捨石工	基準 高▽	本 均 し	±50	施工延長10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。		7-3-3-3	
							荒 均 し	異形ブロッ ク据付面 (乱積)の高 さ				±500
								異形ブロッ ク据付面 (乱積)以外 の高さ				±300
							被 覆 均 し	異形ブロッ ク据付面 (乱積)の高 さ				±500
								異形ブロッ ク据付面 (乱積)以外 の高さ				±300
							法 長 $\ell$	-100				幅は施工延長40m（測点間隔25mの場 合は50m）につき1ヶ所、延長40m （又は50m）以下のものは1施工箇所 につき2ヶ所、延長はセンターライン 及び表裏法肩。
							天 端 幅 $w_1$	-100				
天 端 延 長 $L_1$	-200											
8 砂防 編	1 砂防 堰堤	3 工場 製作 工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 材	部材長 $\ell$ (m)	$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	図面の寸法表示箇所で測定。	8-1-3-4		